

介護総合演習V

担当教員 吉岡 久美、馬場 敏彰

配当年次 3年

開講時期 第1学期

単位区分 選択

授業形態 演習

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

地域で生活する方のうち、生活困難を抱えた方々の課題とその支援について検討し、実際の援助方法を分析する力を身につける。

居宅介護、グループホーム等に関する制度を理解し、利用者の生活形態、家族関係を考慮した生活援助が説明できる。

【授業の展開計画】

科目担当者 実務経験

【吉岡】大学病院（看護師）、一般病院（看護師長）、訪問看護ステーション（訪問看護師・管理者）、
介護福祉士養成校教員 他

【馬場】介護施設（介護福祉士）、介護福祉士養成校教員 他

週	授業の内容
1	グループホームに関する制度と利用者の生活を理解する（馬場）
2	在宅生活をする介護が必要な対象者の生活を理解する（吉岡）
3	在宅生活を支援する介護の専門性と実践を理解する（馬場）
4	居宅支援に位置づけられる福祉サービスを理解する（吉岡）
5	居宅支援の実践者とその役割を理解する（馬場）
6	居宅支援における介護福祉士の役割を探求する（グループワーク）（吉岡・馬場）
7	居宅支援のチームアプローチにおける連携方法を考える（馬場）
8	居宅支援の実践に必要な接遇等を考える（吉岡）
9	これまでの実習を振り返り、居宅支援の実施にむけた自己課題を明確化する（吉岡）
10	介護実習Vの目的を明確化し、目標設定をする（吉岡）
11	介護実習Vの行動計画を作成する（吉岡・馬場）
12	実習施設の理解を深め、考えられる利用者像をもとに生活支援を検討する（吉岡・馬場）
13	介護実習Vの直前指導として、課題確認し実習での行動と学習を検討する（吉岡・馬場）
14	介護実習Vの目標達成状況を振り返り、自己評価して報告書作成する（吉岡・馬場）
15	対象者理解、施設理解、生活支援技術の提供等について総合的にまとめる（吉岡・馬場）

【履修上の注意事項】

事前学習として、単元に関するテキストを読んでくること。

事後学習では、演習における課題に取り組むこと。

事前事後学習として90分程度

【評価方法】

演習への積極性、参加態度：60% 提出物（課題、レポート等）：40%
提出された課題レポートについてはコメントを入れて返却する

【テキスト】

新）介護福祉士養成講座編集『介護総合演習・介護実習』中央法規 最新版

【参考文献】

介護実習要項等